



新監督就任会見で意気込みを語った若松駿太氏(中央)

野球で岐阜盛り上げる

岐阜ダイヤモンドリバーズ若松監督会見

投手力強化「日本海」優勝」目標

日本地域プロ野球リーグ機構(JRPB)の日本海リーグへの来季加入を目指す「岐阜テクノダイヤモンドリバーズ」の初代監督に就任した元プロ野球ドラゴンズ投手の若松駿太氏(31)が20日、岐阜市内で会見した。「ファン以上に自分自身がワクワクしている。岐阜といえば若松と言われるくらい、野球で岐阜を盛り上げたい」と意気込んだ。

若松氏はプロ野球や独立リーグでの経歴を築いた後、一般企業に就職したものの「NPB(日本野球機構)の指導者になる夢を諦めきれなかった」。独立リーグ時代に選手兼コーチを務めたことと、投手力強化について、若松氏は「投手力強化したい。最高の形は1-0、2-0で勝つ」と目指すチーム像を説明した。

同球団は、選手が希望する県内の企業に勤めながらプレーする「デュアルキャリア」を導入する。若松氏は「野球選手としてのキャリアが終わったとしても働ける」と利点を語った。(奥澤優芽)

若松駿太(わかまつ・しゅんた) 祐誠高を卒業後、2013年に投手としてドラフト7位でドラゴンズに入団。18年に退団後、独立リーグの栃木ゴールデンブレーブスで2年間、福島レッドホープスで選手兼コーチとして4年間所属した。福岡県久留米市出身。